

決 算 審 査 特 別 委 員 会 記 録

令 和 8 年 10 月 2 日（金）午 後 3 時 15 分 開 議

○審査日程

- 1 議案自第122号至第140号分科会報告、意見表明、採決

○出席委員

石 川 美 香 君	吉 川 英 二 君
茂 呂 一 弘 君	岳 田 雄 亮 君
須 藤 博 文 君	岡 崎 純 子 君
黒 澤 和 泉 君	野 島 友 介 君
山 崎 真 彦 君	大 平 真 弘 君
渡 邊 惟 大 君	桜 井 秀 夫 君
青 山 雅 紀 君	伊 藤 隆 広 君
前 田 健 一 郎 君	石 川 弘 君
小 坂 さ と み 君	三 井 美 和 香 君
渡 辺 忍 君	安 喰 初 美 君
梶 澤 洋 平 君	守 屋 聡 君
蛭 田 浩 文 君	伊 藤 康 平 君
阿 部 智 君	松 坂 吉 則 君
植 草 毅 君	岩 井 雅 夫 君
亀 井 琢 磨 君	田 畑 直 子 君
川 合 隆 史 君	麻 生 紀 雄 君
段 木 和 彦 君	佐々木 友 樹 君
盛 田 眞 弓 君	櫻 井 崇 君
森 山 和 博 君	酒 井 伸 二 君
小松崎 文 嘉 君	向 後 保 雄 君
宇留間 又 衛 門 君	中 島 賢 治 君
三 須 和 夫 君	石 井 茂 隆 君
米 持 克 彦 君	石 橋 毅 君
白 鳥 誠 君	三 瓶 輝 枝 君
中 村 公 江 君	野 本 信 正 君

○説明員

市 長	神 谷 俊 一 君	副 市 長	那 須 一 恵 君
副 市 長	橋 本 直 明 君	総合政策局長	藤 代 真 史 君
総 務 局 長	中 尾 嘉 之 君	財 政 局 長	勝 瀬 光 一 郎 君

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和 8 年決算審査特別委員会記録（10月 2 日）

市 民 局 長	市 倉 秀 子 君	保 健 福 祉 局 長	秋 幡 浩 明 君
こども未来局長	大 町 克 己 君	環 境 局 長	堺 逸 樹 君
経 済 農 政 局 長	安 部 浩 成 君	都 市 局 長	高 峯 聡一郎 君
建 設 局 長	山 田 裕 之 君	消 防 局 長	市 村 裕 二 君
水 道 局 長	日 暮 秀 訓 君	会 計 管 理 者	橋 本 欣 哉 君
病 院 局 次 長	柿 崎 恵 司 君	市 長 公 室 長	山 崎 哲 君
総 務 部 長	桑 本 茂 樹 君	財 政 部 長	大 畑 晃 君
教 育 長	鶴 岡 克 彦 君	教 育 次 長	中 島 千 恵 君
選挙管理委員会	清 水 公 嘉 君	人 事 委 員 会	大 宮 真 人 君
事 務 局 長		事 務 局 長	
農 業 委 員 会	鈴 木 規 宏 君	代 表 監 査 委 員	神 崎 広 史 君
事 務 局 長			

○議会事務局

事 務 局 長	香 取 徹 哉 君	次 長	小名木 啓 一 君
議 事 課 長	安 西 雅 樹 君	議 事 課 長 補 佐	佐 藤 大 介 君
議 事 班 主 査	岡 田 昌 樹 君		

午 後 3 時 15 分 開 議

○委員長（段木和彦君） ただいまから決算審査特別委員会を開きます。

出席委員は50名、委員会は成立いたしております。

本日の審査日程につきましては、配付のとおりでございます。

1 議案自第122号至第140号分科会報告、意見表明、採決

○委員長（段木和彦君） それでは、議案第122号から第140号までの19議案について、分科会報告、意見表明、採決を行います。

分科会報告につきましては、配付のとおりでございます。

分科会報告を添付

○委員長（段木和彦君） 意見表明の通告が参っておりますので、通告順に従いお願いいたします。森山和博委員。

○委員（森山和博君） 公明党千葉市議会議員団を代表して、令和 7 年度決算議案の認定の立場より意見表明を行います。

令和 7 年度の一般会計・特別会計の実質収支額が55億2,234万円となりました。また、一般会計においても、24億6,336万円の実質収支が確保されました。

令和 7 年度の財政運営も大変に厳しい状況で、財政調整基金の取り崩しが一層進み、45億4,518万円の残高にまで減少していることや、病院事業における累積赤字対策などが依然とし

て油断できないこと、さらには公共施設の更新・維持管理費用が毎年度に大きな財政負担として顕在化している等の課題があります。

しかしながら、中期財政運営方針に基づき、市債残高や基金借入れのコントロールに努め、財政の健全性を一定程度保ったものと確認いたしました。

各種施策につきましては、長期化する物価高への継続的な対応、書かない窓口の実現による市民サービスの向上をはじめとして、市民行政では千葉国際芸術祭のトリエンナーレ開催、保健福祉行政では、帯状疱疹ワクチン接種費用助成、千葉市手話言語の普及及び障害者のコミュニケーション手段を促進する条例を制定したほか、こども未来行政では、おむつのサブスクリプションの導入、環境行政では、脱炭素社会の実現に向けた脱炭素先行地域事業の推進、都市行政では、高津戸乗合タクシーの本格運行の実現、花見川団地を拠点とした地域生活圏の活性化、空き家対策の強化、そして教育現場では、全市立学校への防犯カメラの設置完了など、市民の生活の中に幅広く求められる施策が展開されていることを市議団として確認し、その成果を評価しております。

今後も財政健全化に向けた取組の継続とさらなる市民福祉の向上、活力ある千葉市をつくるため全力を尽くされることを求め、公明党千葉市議会議員団の意見表明といたします。

○委員長（段木和彦君） 岡崎純子委員。

○委員（岡崎純子君） 立憲民主・無所属千葉市議会議員団の岡崎純子です。

会派を代表し、令和7年度決算に認定の立場から意見表明を行います。

令和7年度は北谷津新清掃工場や幕張海浜病院といった大型工事のピークが重なったことにより市債残高が増加したものの、実質公債費比率は低下し、中期財政運営方針の範囲内に収まりました。市民生活に必要な投資を行いつつ市債発行規模の精査に努められたことを評価します。しかし、社会保障費や物価、金利の上昇、さらに、令和8年8月千葉豪雨からの復旧、支援などにより、今後の財政環境は一層厳しさを増します。歳入確保と既存事業の徹底した合理化、国の財政支援の活用により、持続可能な財政構造の確立を強く求めます。

第1次実施計画では約7割の事業で達成度80%以上を達し、待機児童ゼロの継続や福祉、教育などの寄り添い型支援の拡充を高く評価します。一方で約3割の事業が目標未達となったことを真摯に検証し、今年度からスタートした第2次実施計画を着実に推進することを要望します。

防災面では、他自治体支援を通じた人材育成を継続するとともに、先の千葉豪雨で顕在化した帰宅困難者、被災車両、マンションのライフライン途絶などの都市型課題に対し、受援体制の強化と実践的な対策の確立を急ぐべきです。また、水害対策としてハード・ソフト一体となった雨水対策の推進を求めます。

主な施策について申し上げます。

総務行政では、我が会派の提案で始まった、あなたが使える制度お知らせサービスのスマホ完結化とデジタルデバйд対策の両立、DXツールの全庁的な展開とガバナンス構築。

市民行政では、町内自治会業務のDXと負担軽減支援。

保健福祉・こども未来行政では、包括的支援体制や、福祉まるごとサポートセンターの強化、多子世帯保育料軽減の国への働きかけ。

環境・経済・都市行政では、プラスチック分別等のごみ減量、アントレプレナーシップ教育等の中長期的な人材育成、新規就農支援、地域公共交通の実証実験と権利確保。

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。
令和8年決算審査特別委員会記録（10月2日）

消防・病院・教育行政では、消防指令体制の安定運用、看護師の就労環境改善、不登校対策としての、学びの多様化学校設置準備や民間連携、アフタースクールの早期全校配置と質的向上を求めます。

99万市民が住み続けたいと思えるまちづくりに向け、神谷市長をはじめ執行部の一層の努力を期待し、意見表明といたします。

○委員長（段木和彦君） 岳田雄亮委員。

○委員（岳田雄亮君） 自由民主党千葉市議会議員団の岳田雄亮でございます。

会派を代表いたしまして、決算議案につきまして、認定の立場から意見表明を申し上げます。

令和7年度の一般会計決算は、社会保障関係経費や行政コストが増加する中、市税が増収となったことに加え、効率的な予算執行に努めた結果、実質収支は25億円の黒字となりました。また、実質公債費比率の改善などが図られた点を評価いたします。

次に、各種施策についてです。

物価高騰対策では、総額83億円の事業を実施し、国の取組への対応に加え、学校給食費支援や中小企業者への支援など、市独自の施策により、市民生活と事業活動を支えた点を評価いたします。

子育て支援では、既存施設の活用などで保育の受け皿を拡充し、保育所等で7年連続の待機児童ゼロを達成し、また、学校体育館の冷暖房設備工事などにより、教育環境の改善が進められました。

さらに、新清掃工場の竣工や下水道施設の耐震化など、暮らしを支える基盤の整備や、千葉開府900年の取組や国際スポーツ大会誘致など、都市の魅力と活力を高める施策も推進されました。

以上の点を踏まえ、各種施策の着実な推進が図られたものと評価し、本決算を認定すべきものと考えます。

一方で、財政調整基金残高は45億円まで減少し、市債残高も増加しております。今後は、事業の必要性や効果を検証し、財政の健全性と必要な市民サービス確保を両立させることが重要です。

また、歳入確保の観点からは、債権管理の徹底と未収債権の徴収強化に一層取り組むべきであります。とりわけ、貸付金のような、契約に基づき返済義務を負う公金の徴収は、行政の当然の責務であります。

貸付金の種類によっては、億単位の多額の滞納額が生じているものもあると承知しております。このような現状を看過することなく、積極的な徴収を進めるべきであります。

その成果は、厳しい財政状況の中で、例えば、学校施設の修繕など、さらなる充実が求められている行政需要に対応するための貴重な財源の確保につながるものであり、今後の実効性のある徴収対策を強く求めます。

新年度予算編成に当たっては、豪雨被害からの復旧・被災者支援、防災・減災対策を着実に進めるとともに、市民の要望や我が会派の指摘への的確な対応を強く求め、自由民主党千葉市議会議員団の意見表明といたします。

○委員長（段木和彦君） 安喰初美委員。

○委員（安喰初美君） 日本共産党千葉市議会議員団を代表して、2025年度決算に不認定の立場から意見表明を行います。

不認定の第 1 の理由は、必要性の乏しい中央公園・通町公園の連結強化や、千葉駅周辺開発など大型公共事業に20億2,600万円、担税力のある企業に固定資産税などの補助を行う企業立地に20億8,000万円など多額の支出を行う一方、4年連続となる国民健康保険料の値上げなど、市民負担を増やす公共料金の改定や事業見直しなど福祉カットは16億9,000万円となっており、市民生活よりにぎわいづくりや企業誘致など民間事業者を優先する決算であることです。

第 2 の理由は、地方自治法の本旨である住民福祉の増進に反して、国民健康保険料の値上げや公共料金の値上げなど、福祉カットの決算であることです。

第 3 の理由は、物価高騰で苦しむ市民生活を支援するための対策が国頼みであり、本市独自の物価高騰対策が不十分であるからです。物価高騰対策11事業、82億7,800万円中、学校給食の支援や中小企業者エネルギー価格高騰支援金など市独自の物価高騰対策は6億円にとどまり、ほとんどが国頼みの予算となっており、市民生活の実態を把握し、暮らし優先の支援をすべきであったと指摘するものです。

第 4 の理由は、学校給食の無償化や加齢性難聴への補聴器購入助成など、国が制度をつくり財源も保証すべきとして、市独自で取り組む姿勢がないからです。中学校まで無償化している自治体は県内で29自治体となり、半数を超えています。

また、補聴器購入助成実施自治体は年々増加し、20に上っています。国任せの姿勢ではなく、住民の切実な要望を実現するのが地方自治体の役割であると考えます。

日本共産党千葉市議会議員団は、事業効果が不透明な新湾岸道路の建設計画や中央公園プロムナードまちづくりなど中心市街地開発優先の計画は官民連携という名のもとに市の財政を使って民間をもうけさせる事業であり、推進することに反対します。財政調整基金を取り崩し、財政に余裕がなくなっている中で、事業効果が見通せない大型開発に財政をつぎ込むのではなく、今後も頻発が予想される災害対策にこそ力を注ぐべきであり、地方自治法の本旨である住民福祉の増進を図る事業に取り組むべきであると求めて、会派を代表しての意見表明いたします。

○委員長（段木和彦君） 山崎真彦委員。

○委員（山崎真彦君） 日本維新の会ちばの山崎真彦です。

会派を代表し、令和 7 年度千葉市各会計決算関連議案について、認定の立場から意見表明を行います。

令和 7 年度一般会計決算は、個人市民税の定額減税の終了や給与所得の伸びなどにより市税が前年度比約143億円の大幅な増収となり、実質収支は約25億円の黒字となりました。

また、健全化判断比率において実質公債費比率は0.3ポイント改善の10.1%、将来負担比率も121.4%と中期財政運営方針の許容範囲内に収まっており、神谷市政下では横ばいであった市税徴収率が前年度比0.2ポイント向上した点や、今年度予算において約9億円の事業見直し、経費削減を実行した姿勢は、大いに評価いたします。

しかしながら、市税増収の決算の黒字収支のフローの数字だけで安心することはできません。

直近2年間にわたり減少傾向にあった市債残高は一転して261億円もの大幅増に転じ、歳出総額は過去2番目の規模へ膨張しました。

さらに極めて憂慮すべきは、有事の備えであるはずの財政調整基金の残高が約54億円減少し、過去5年間で最大の減額幅を記録した点などのストックの数字です。

市税増収という追い風がありながら、財政調整基金の過度な取り崩しと市債増発に依存した

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。
令和8年決算審査特別委員会記録（10月2日）

構造は、実質単年度収支を悪化させ、金利上昇局面への移行に伴う将来の利払い負担を増大させる極めて危うい財政運営と言わざるを得ません。

今後は、ZOZOマリンスタジアムや千葉市民会館の再整備など、数百億円規模に及ぶ大型公共投資が控えているため、これまで以上に厳格な投資対効果の精査と、持続的な財政マネジメントが不可欠です。

財政規律を重んじる我が会派として、執行部へ以下2点を強く求めます。

第1に、組織再編された徴収体制を最大限活かした徹底的な自主財源の確保と、民間委託やDXの徹底、既存事業のスクラップ・アンド・ビルドによる構造的な歳出改革の恒常化です。

第2に、実質公債費比率や将来負担比率の上昇リスクを厳格に管理しつつ、財政調整基金の計画的な積み増しを速やかに進め、将来世代へ過度なツケを先送りしない強靱な財務体質を構築することです。

我が会派は、是々非々の姿勢で適正な予算執行を注視しつつ、千葉市が真に持続可能で選ばれる都市へ飛躍できるよう、建設的な提言を続けてまいります。

以上、認定に当たっての日本維新の会ちばの意見表明といたします。

○委員長（段木和彦君） 以上で、意見表明を終わります。

お諮りいたします。ただいま議題となっております議案のうち、議案第122号を原案どおり可決することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（段木和彦君） 御異議ないものと認め、可決することに決しました。

続いて、お諮りいたします。第125号から128号まで、第130号、第131号、第133号から第135号及び第137号から第139号までの12議案を、原案どおり認定することに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（段木和彦君） 御異議ないものと認め、認定することに決しました。

続いて、電子採決システムにより採決いたします。

お諮りいたします。議案第124号、第129号、第132号、第136号、及び、第140号の5議案を、原案どおり認定することに賛成または反対のボタンを押してください。

〔賛成・反対ボタン押下〕

○委員長（段木和彦君） 押し間違いはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（段木和彦君） ないものと認め、確定いたします。

採決の結果を申し上げます。

賛成多数であります。よって、認定することに決しました。

続いて、お諮りいたします。議案第123号を、原案どおり認定することに賛成または反対のボタンを押してください。

〔賛成・反対ボタン押下〕

○委員長（段木和彦君） 押し間違いはありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（段木和彦君） ないものと認め、確定いたします。

採決の結果を申し上げます。

賛成多数であります。よって、認定することに決しました。

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和８年決算審査特別委員会記録（10月２日）

以上を持ちまして、決算審査特別委員会を終了いたします。

長期間、慎重審査ありがとうございました。

午 後 ３ 時 ３ ３ 分 散 会

暫 定 版

※確定版の会議録ではありません。今後修正される可能性がありますので、御注意ください。

令和８年決算審査特別委員会記録（10月２日）

千葉県議会委員会条例第29条の規定により署名する。

決算審査特別委員長 段 木 和 彦